

海外留学の成果報告

福井工業高等専門学校
環境システム工学専攻1年

中本 邦子

留学先 **ドイツ**

留学期間 平成29年8月18日

～平成29年9月16日



ベルリン王宮の樋

支援企業

井上商事株式会社

担当者

特販営業部 海外営業担当 井出 勝也

担当者から一言

同行営業中は、ドイツの建築士に質問したり、積極性を見ることができました。

外国に行っても物怖じせず、2週間程度で適応できることは強みだと思います。

語学力を身につけることで、世界で活躍できる可能性が広がります。語学の勉強も継続して行ってください。



建築家Sauerwineさんと井上商事株式会社社長

①留学をしようと思った動機

私は県内での就職を希望していましたが、学生の中に海外に行って、視野を広げたいと思っていました。そんな中、先生からトビタテ！留学 JAPAN 地域人材コースの募集をしていることを聞き、この事業であれば自分の思いを実現できると考え応募することにしました。

②留学の内容および成果

私は海外インターンシップの受入れ先として、県内に本社のある井上商事(株)にお世話になりました。井上商事(株)は、アルミ製品の雨樋(アルトイ・アルノキ)を製造から販売まで行っている企業で、私の専攻している分野(土木・建築関係)に近い企業でした。海外インターンシップでは、井上商事(株)が建築基準の厳しいドイツで樋の販売を計画していたこともあり、一緒に海外営業を行わせていただくことにしました。

ドイツでは、各地域(ベルリン・ミュンヘン・シュトゥットガルト等)で設計事務所に勤務している日本人の方を訪問し、現在ドイツで使われている樋についてや、ドイツの建築基準について伺いました。また、ドイツの建築事情だけでなく、日本の建築事情も伝えることで日独の建築事情における情報共有を行いました。

井上商事(株)のアルトイは、内部にサビ防止の処理をするなど、耐久性に優れた商品であり、画期的な樋であると高い評価を頂けましたが、一般の住宅に使用してもらうことは難しいとの意見もありました。これは、ドイツでは景観を守るために古い建物が好まれ、建物の劣化と同時に劣化する樋を求められていたためでした。国によって異なる価値観があることを目の当たりにし、自分の視野を広げることに役立てられたと思います。

休日や空き時間に企業の方と食事をしたり、観光したりして交流を深める中で、建築に関することはもちろん、会社についてやプライベートの話など社会人の実際の声を直接聞くことができました。普段このような機会はあまりなく、私達学生に取って非常にありがたい機会だと感じました。

また、今回の留学では、日本人は働きすぎということに気付かされました。日本にいと当たり前で気付かませんが、ドイツの日曜日はどこのお店も閉まっており、家族と過ごす日となっています。平日も時間になったら仕事を切り上げて帰るなど働きやすい環境になっていました。こういった日本では当たり前でないことが当たり前だったりするところを見つける事も楽しかったです。

一方で、1ヶ月ドイツで過ごしたことで日本特有の良さも感じることもあり、日本の住みやすさに気づくことが出来ました。

今回ドイツに行き、たくさんの人に会い、知らなかった世界を見ることができて、視野が広がりました。また、海外には日本にない魅力がたくさんあることに気づき、もっと知りたい、もっと海外に行っておんなの人に会いたいと思うようになりました。



ハイデルベルク城からの風景